

プラットが 学校へ。

プラットが
子どもたちの
新たな可能性を
拓くために
学校の授業を
お手伝いします！



ワークショップを実施した 先生たちの声 (一部抜粋)

- 演劇**

普段おとなしく、自分の考えをあまり言わない子ども「あしたい」「こうしたらいいんじゃない?」と自分の意見を積極的に言っていました。たくさんの意見が出る中で、「それいいね!」と言って一つのものを作り上げていく姿が見られました。
—— 小学5年生担任
- ダンス**

最後に、みんなの前で、ダンスをする子がたくさんいてびっくりした。進行役の先生方が、様々な個性を持つ子どもたち一人一人に寄り添ってくれたから、子どもたちも心を開いて自分を表現することができました。普段は見たことのない体から溢れる表現を見て、担任一同とてもうれしかったです。
—— 特別支援学級担任
- 音楽**

音に合わせて自由に身体を動かす活動で、普段おとなしい子どもでも楽しく身体を動かしていたのが良かったです。
—— 小学2年生担任
- 演劇**

学芸会を指導する側としても、演劇のプロの方の進め方を見たり教えてもらえたりすることで、学ぶことがたくさんあり、とても有意義な時間でした。
—— 小学6年生担任
- ダンス**

進行役の先生がとても面白くて、子どもたちはその世界に引き込まれていきました。身体全体を使って動くという活動を意識されていて、この学級の子どもたちにとっても大切なことだと思いました。
—— 特別支援学級担任
- 音楽**

物語を楽器で表現する活動の中、進行役が提示したリズムを生徒がアレンジを加えて演奏する場面が見られ、良かったです。また、音楽を苦手と感じている生徒も積極的に楽器を演奏していました。
—— 中学1年生担任



実施例のご紹介

新年度のクラスづくりワークショップ

分野:演劇 対象:小学4年生 時間:90分

数人で身体を使って「椅子」や「花」などの物を身体で形づくりに始まり、みんなが知っている昔話を基にグループ単位でストーリーを考え、最終的にはグループごとに創ったお話の発表を行いました。発表を見た子どもたちからは、良かった点など感想が飛び交っていました。普段あまりグループを組まないクラスメイト同士との活動を行い、互いの新たな一面を知る時間となりました。

授業の成果を演劇形式で学び直すワークショップ

分野:演劇 対象:小学5年生 時間:90分

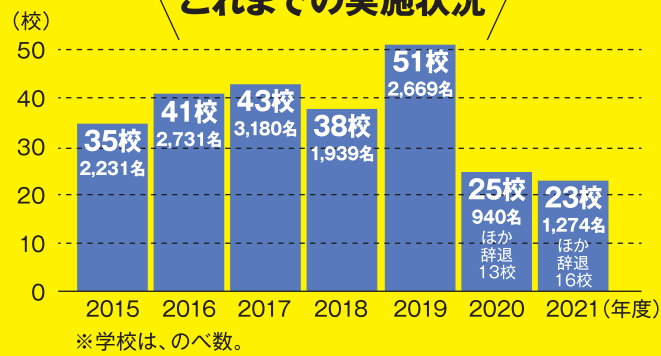
総合の授業で「防災」をテーマに調べた内容を、まちに住む人や低学年生に伝えるという目標のもとワークショップを行いました。5人1組で「地震が来た時に起こること」の場面を作り、発表。最終的には各組で想定した災害をどうしたら防ぐことができるのか話し合い、劇にして発表しました。授業で学んだことを、より分かりやすく人に伝える方法として演劇を取り入れたことで、身体を通じてもう一度考える経験ができました。

特別支援学校・学級の児童・生徒対象の表現体験ワークショップ

分野:ダンス 対象:小学1~5年生 時間:90分

進行役の動きを真似することから始まり、前半は、子どもたちも知っている曲に合わせて身体を動かします。「おにぎりの具」を言い合うゲームでは子どもたちから新しいアイデアがどんどん生まれました。最終的には、90分間の集大成として一人一人の自由なダンスを見せ合いました。全員が思い思いの表現や動きを見せ、自分なりの楽しみ方で表現し合う時間となりました。

豊橋市における これまでの実施状況



PLAT
穂の国とよはし芸術劇場
TOYOHASHI ARTS THEATRE

〒440-0887
愛知県豊橋市西小田原町123番地
TEL:0532-39-8810
FAX:0532-55-8192
<https://www.toyohashi-at.jp/>
休館日:第3月曜日(祝日の場合はその翌平日・年末年始)

発行:公益財団法人 豊橋文化振興財団 2022年3月発行



穂の国とよはし芸術劇場 **PLAT**
TOYOHASHI ARTS THEATRE

主催:公益財団法人 豊橋文化振興財団/豊橋市



プラットフォームが 学校へ広がります

芸術文化体験普及事業とは？

穂の国とよはし芸術劇場PLAT(公益財団法人豊橋文化振興財団)が豊橋市より委託を受け、市内の小学校・中学校や特別支援学校・学級を対象に、演劇・ダンス・音楽などのアーティスト(進行役)を派遣するワークショップ等をさします。アーティストが学校に出向き、子どもたちと直接触れ合う場を設けることで、創造性や子どもたち同士のコミュニケーション能力を育むとともに、豊かな情操を養う機会の拡大を目指します。学校と劇場が連携・協働することで、アートを活用した新しい学びの可能性を探る事業にもなっています。

- 期 間 | 4月～翌年3月
- 会 場 | 体育館、音楽室、多目的室など(教室より広めのスペース)
- 対 象 | 小学校1年生～中学校3年生、特別支援学校・学級の児童・生徒
- 参加単位 | クラス単位、学年単位等
※1回につき20～30人を目安に、ご相談に応じます。
- 所要時間 | 1回につき授業時間2時限分(90分)より実施します。
- 費 用 | 豊橋市の補助金で事業を実施しますので、学校の費用負担はありません。

豊橋市では、学校やクラスに合わせた
オーダーメイドのワークショップ
を実施しています。芸術文化体験は子どもたちの未知の可能性を拓くことが多く、これまで実施した学校からも様々な反響をいただけてきました。

6 特別支援学校・学級の児童・生徒対象の表現体験ワークショップ

身体を動かしたり、音を奏でたり、色々な表現に出会う機会を設けることで、子どもたちの新たな個性を発見できます。

- ダンス/音楽 ●小・中学部/小・中学生 ●5～2月 ●学校単位、複数の学校によるグループ(最大30名程度)



1 新年度のクラスづくりワークショップ

新学年のクラスで、みんなで一緒に身体を動かし、相談し合って表現を体験することで、クラスメイトの新しい一面に出会うことができます。子どもたち同士のコミュニケーションを深めることで、クラス運営に役立ちます。

- 演劇 ●小・中学生 全学年 ●4～6月 ●クラス単位



2 表現体験ワークショップ

◎演劇による表現体験ワークショップ
普段の授業や教科に寄り添ったプログラムを通して、身体をつかった表現やコミュニケーションを体験します。

◎ダンスによる表現体験ワークショップ
言葉や文字にならないことを身体や動きで表現しながら、五感を呼び覚まし、身体感覚の発達につなげます。
※同一学年の1～2クラス(最大40名程度)でも対応可能

◎音楽による表現体験ワークショップ
リズムに親しみ、楽器に触れ演奏することで、楽譜が読める読めないに関わらず、音楽をもっと身近に感じることが出来ます。

- 演劇/ダンス/音楽 ●小・中学生 全学年 ●7～2月 ●クラス単位



Work Shop 基本的なプログラムは6つ

プラットフォームでは先生の希望に沿ってワークショップを行うアーティスト(進行役)を派遣します。1回のワークショップは2時限分(90分)をベースに、アレンジも可能です。



3 授業の成果を演劇形式で学び直すワークショップ

社会科見学などの学習成果を演劇に仕立て、言葉だけでなく身体も使って再現。発表する側も見る側も、より深く記憶に焼き付けられる形で理解を促します。

- 演劇 ●小学生 全学年 ●7～2月 ●クラス単位



5 学芸会・学習発表会に向けたワークショップ

実際に使用する台本をもとに、本番へ向けての演出効果のヒントやアドバイス等のお手伝いをします。「自分たちの表現」を生み出す気持ちを芽生えさせ、集団で行う創作のおもしろさを学びます。

- 演劇 ●小学生 全学年 ●9～11月 ●同じ演目をおこなう学年単位、クラス単位



4 同一学年による継続的な表現ワークショップ

年間を通じて3回を目安におこなうプログラム。回を重ねることで、表現に対するハードルを下げ、更に自己表現の幅を広げる機会を提供します。

- 演劇/ダンス ●小学生 全学年 ●7～2月 ●同一学年の1～2クラス(最大30名程度)



For Teachers 教員向け表現体験ワークショップ

「ワークショップを体験したことがなく、やってみたい」という先生に向けたプログラム。実際に学校で行うプログラムを体験できます。会場はプラットフォームで、夏休み期間に開催します。

- 演劇 ●教員 ●夏休み期間 ●20～30名程度



ワークショップ実施までの流れ

前年度11月～3月

実施校の募集

4月～

豊橋市と調整のうえ決定

実施校との内容の打ち合わせ

プラットフォームの職員がコーディネーターとして学校にうかがい、先生と打ち合わせ。対象となる学年や学級の特徴、普段の学校生活の様子、教科等のねらいなどを把握し、アーティストとともに効果的なプログラムを提案。

5月～翌年3月

アーティストによるワークショップの実施

実施終了後

アンケートの提出

よくあるご質問

Q.ワークショップには、どのくらいの時間が
必要ですか?
A.活動の内容によって異なります。

基本的には、授業時間の2時限分(90分)に合わせて実施します。場合によっては4時限分(180分)で実施する場合もあります。例えば「授業の成果を演劇形式で学び直す」の場合は2時限分×2回にすると、学習(社会科見学等)の成果を演劇で発表し合うことも可能です。また「学芸会・学習発表会」の場合は、複数回にわたって実施する方法もあります。昼休みや放課後など授業以外の時間でも対応しますので、お気軽にご相談ください。

Q.ワークショップ中、教員は何をしたらいい
ですか?
A.すべて進行役にお任せいただき、様子を見守るだけで構いません。

先生はワークショップを見学していただきながら、子どもたちの普段と違う一面を発見したり、一緒に楽しんでいただいています。時には参加したりアドバイスしても良いですし、リラックスして子どもたちと共に楽しんでいただくことが大切だと考えています。もちろん進行で気になる点があれば、いつでも遠慮なくお声掛けください。

【注1】各項目に付く●は、芸術分野/対象学年/実施時期/実施人数を順に示しています。

【注2】実施時期は目安です。新型コロナウイルス感染症拡大状況等により、変更になる場合があります。